

地方自治法施行60周年記念貨幣の解説（平成21年度発行分）

長野県（平成21年度）

この記念貨幣は、「日本アルプスや国宝善光寺などの豊かな自然と文化」をテーマに、発行されたものです。

記念貨幣の表面は、国の特別名勝・特別天然記念物に指定されている上高地の初夏の風景をデザインしています。図柄には、上高地のシンボルである河童橋（木の吊り橋）とその下を流れる梓川の清流、初夏でも雪の残る穂高連峰（中央は奥穂高岳）をデザインし、長野県の豊かな自然を表現しています。

新潟県（平成21年度）

この記念貨幣は、「特別天然記念物「トキ」放鳥」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、新潟県の県の鳥であるトキと佐渡島（大野亀）の風景をデザインしています。図柄のトキは、平成11年に初めて人工増殖で誕生した「オス/ユウユウ」をデザインしています。トキは、昭和56年を最後に野生下から絶滅していましたが、平成20年9月に佐渡島で再び野生下へ放鳥されました。佐渡島北端の大野亀は、トビシマカンゾウ（カンゾウ）【ユリ科・多年草】の日本有数の群生地。トビシマカンゾウの花びらは黄色く、開花時期は5月下旬頃から6月中旬頃。

※トキ【朱鷺】：国際保護鳥で国の特別天然記念物。学名は、「*Nipponia nippon*」。

茨城県（平成21年度）

この記念貨幣は、「科学技術創造立県」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、茨城県が世界に誇る科学技術と未来に向かって発展していく姿の象徴として、筑波研究学園都市（茨城県つくば市）のシンボルであるH-IIロケットと筑波山をデザインしています。

※H-IIロケット：我が国初の純国産ロケット。独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）の前身の宇宙開発事業団が開発。

筑波研究学園都市にある同機構筑波宇宙センターには実物が、つくばエキスポセンターには実物大模型が展示されている。

※筑波山：「西の富士・東の筑波」と並び称される優美な姿は、「万葉集」や「小倉百人一首」などにも歌われている。日本百名山のひとつ。山内には学術的に珍しい植物や昆虫なども多く、貴重な自然の宝庫となっている。

奈良県（平成21年度）

この記念貨幣は、「平城遷都1300年祭」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、平城遷都1300年にちなみ、奈良時代の繁栄を象徴する史跡平城宮跡の中心的建造物である第一次大極殿正殿と奈良県の県花である奈良八重桜を、奈良時代から続く伝統球技である蹴鞠とともに構成しデザインしています。

※平城宮跡：国の特別史跡に指定されている。また、ユネスコの世界遺産に登録されている「古都奈良の文化財」のうちのひとつ。

※第一次大極殿正殿：天皇の即位、元旦の朝賀など国家的な儀式の時に天皇が出御する平城宮の中心的な建物。現在復原工事中であり、2010年（平成22年）に復原完成予定。[第一次大極殿正殿完成予想図提供：文化庁]

（平成22年1月1日から12月31日までの間、奈良県内各地で平城遷都1300年祭開催、主会場は平城宮跡で開催期間は4月24日～11月7日）